

2016 年度英国現代奴隷法ステートメント（仮訳）

INPEX(以下、当社)は、英国現代奴隷法第 54 条第 1 項の定めに基づき、当社グループ及びそのサプライチェーンにおける奴隷労働や人身取引を防止するための取り組みについて、以下のとおり開示します。

1. 当社の事業概要

当社グループは、エネルギーの安定的かつ効率的な供給を実現することを通じて、豊かな社会づくりに貢献するとの経営理念に基づき、石油・天然ガスの探鉱、開発、生産、販売及びそれらを行う企業に対する投融資を主たる業務としております。

当社グループは、世界 20 数か国で約 70 のプロジェクトを展開する日本最大の石油・天然ガス開発企業であり、当社グループ従業員数は 3,000 名を超えています。英国においては、当社ロンドン事務所において、周辺事業の管理運営や新規案件発掘の支援、石油ガス産業関連の情報収集等の業務を実施しています。

2. 奴隷労働及び人身取引防止に関する方針、体制等

グループに適用する方針

当社は、INPEX グループ人権方針（以下、人権方針）にて、当社グループの人権尊重の姿勢を包括的に明示しております。また、企業行動憲章の下、全ての役員・従業員が守るべき行動基本原則及び行動規範において、人権の尊重を規定しております。

- ・ 人権方針(<http://www.inpex.co.jp/csr/compliance/pdf/INPEX-Group-Human-Rights-Policy-jp.pdf>)
- ・ 企業行動憲章 (<http://www.inpex.co.jp/company/philosophy.html>)
- ・ 行動基本原則及び行動規範 (<http://www.inpex.co.jp/company/policy.html>)

国際規範の尊重と外部イニシアティブへの参加

当社グループは、国際人権章典や ILO 国際労働基準、国連のビジネスと人権に関する指導原則等の人権に関する国際規範を支持しているほか、2011 年より国連グローバル・コンパクト、2013 年より IPIECA に参加し、人権の尊重に努めています。

体制

当社グループでは、人権方針、企業行動憲章、行動基本原則及び行動規範において全ての役員及び従業員に対し法令遵守はもちろんのこと、社会規範を尊重し、高い倫理観を持った行動をするよう義務付けています。これらの方針等に基づいた企業倫理・企業行動を徹底するため、常勤の取締役及び執行役員等を構成員とし、コンプライアンス担当役員を委員長とするコンプライアンス委員会を定期的及び随時開催しています。

本ステートメントは当社取締役会の承認を得ており、また、コンプライアンス担当役員である取締役副社長執行役員の佐野正治により署名されています。

3. 奴隷労働及び人身取引防止に関する取り組み

グループ人権方針の策定

人権尊重に対する当社グループの姿勢を包括的に明示するため、国連のビジネスと人権に関する指導原則に則して、2017年5月に人権方針を策定しました。本方針は、当社グループの全ての役員及び従業員に適用されます。

事業リスクの審査に当たっての人権への配慮

当社グループが推進する国内外のプロジェクトおよび拠点に対する人権マネジメント評価を、カントリーリスク調査及びアンケート等などを通じて実施しております。本評価によって、人権リスクへの当社対応状況を把握し、課題の整理を行っています。また、プロジェクト推進に際しては、国際金融公社(IFC)パフォーマンススタンダードを自主基準に採用し、事業活動が操業地域に与え得る環境・社会影響について人権側面を含めて調査を実施し、リスクを特定した上で回避・緩和・モニタリングを行うなど、適切に対処しています。

サプライチェーンマネジメント

当社グループはコントラクター、サプライヤーやジョイントベンチャーパートナーなどの様々なステークホルダーと共に事業活動を推進しています。調達活動においては、調達倫理に係る社内規程に従って、関連する法律、社会規範及び当社行動憲章を遵守するように努めています。また、コントラクター、サプライヤーに対しては、調達契約等において当社人権方針の内容を尊重することを求めています。

啓発活動及び内部通報制度

当社グループでは、全ての役員・従業員が守るべき人権方針、行動基本原則及び行動規範において、人権の尊重を規定しており、社内のイントラネット等を通じ役員・従業員に周知しています。また、従業員向けコンプライアンス研修の実施及びコンプライアンス通信の発行

などによって、人権を含めたコンプライアンス分野の社内啓発活動を積極的に推進しています。さらに、内部通報制度に基づく社内外通報窓口を設置し、当社グループの役員・従業員を対象に運用しており、重大なコンプライアンス違反がある場合においては、適切に対処し、年次サステナビリティレポートで開示することとしています。

4. 今後の取り組み

当社グループは、人権に関する継続的な社内研修やサプライチェーンにおける奴隷労働及び人身取引の防止を含む人権マネジメント強化に努めることによって、操業地域社会への社会的責任を着実に果たし、持続可能な社会づくりに貢献していきます。

2017年9月25日

佐野 正治

署名者 佐野正治

役職名 取締役 副社長執行役員

国際石油開発帝石株式会社